

<<本体プログラム（選択プログラム）>>

### 3-3 トキ交流会館～野生復帰ステーションコース（里の自然、あぜみち、牛舎、鶏舎、生物）

インストラクターと一緒に、歩きながら生きもの探し、トキが好きな場所、ビオトープや田んぼの見学などを行います。

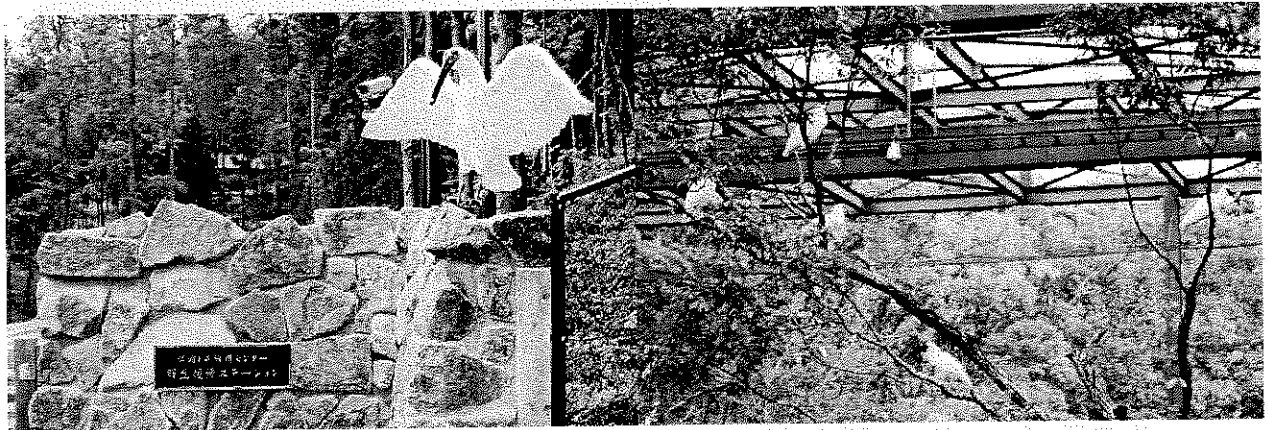
地元の農家が案内人となり、日常では歩けないあぜ道を歩いたり、水が入っている田んぼや水路にたも網を入れて生きもの探しをしたりします。案内人は、トキとの共生に向けた農業や生活、身近な生きものとの関わりについて話ができる人です。

野生復帰ステーションの中には入れませんが、野生復帰ステーションを見下ろせる場所に観察小屋があり、そこからモニターによって訓練中のトキを見ることができます。また、佐渡の景観を楽しむことができます。

#### ■野生復帰ステーション

トキが野生で生きるために必要な繁殖、エサとり、飛行、集団生活などを訓練するための施設です。放鳥を予定しているトキが訓練するための広い訓練ケージのほかに、カップルが子育てを行うための繁殖ケージなどがあり、訓練期間中は24時間体制でモニタリングされています。

訓練ケージでは、田植え、草刈りなどをしながら、人にある程度慣れる訓練や、ネコ、タヌキ、カラス、猛禽類などの天敵に警戒する訓練も行っています。



野生復帰ステーション ケージの中で訓練中のトキ（08年夏）

必要な道具：ハイキングの服装、歩きやすい靴、タオル、水筒。たも網、プラスチック水槽、虫取り網、虫かご、双眼鏡など。

所要時間：往復、休憩、観察、遊び時間を入れて4時間。

## トキ交流会館

【潟上】15.84ha(ビ2.73 冬13.11)

ビ2.74 冬8.98)

## ■野生復帰ステーション

【正明寺】27.04ha(ビ4.95 冬22.09)

【ヨ

### ■ねらい

このコースでは、トキにまつわる場所が数多くあります。ボランティア活動拠点であるトキ交流会館周辺には、小学生の体験学習によるビオトープ、大学の無農薬栽培水田の試験田んぼ、2008年9月25日の試験放鳥が行われた場所、その周辺の大きなビオトープや、環境に配慮した田んぼ、そして、野生復帰ステーションがあり、いくつもの看板や表示も用意されています。

また、周辺は小川、畦、ため池などが多くあり、トンボをはじめとする昆虫、水辺にいる鳥、ドジョウやヤゴなどの水生生物なども見ることができます。時には、キジなども見かけることがありますが、潟上、田の沢、正明寺などの集落もあって人家も目に付きます。人と自然が交ざり合った里山の空間です。自然に囲まれて、自然を利用して人々の生活があることを、ハイキングとして楽しみながら感じ取れるようにします。また、身近な生きものがどこで見つかるのか、どのようにして採取できるのかなどの「昆虫採集」といった体験を行いつつ、自然について体験します。